

図-5 二次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、合計307箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施する。  
 超音波検査(肉厚測定): 304箇所、内面目視検査: 3箇所

○二次系配管の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)部位

	「二次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位	今回定期検査開始時点での未点検部位	今回定検実施部位	今回点検実施後の未点検部位
主要点検部位	1,269	0	66	0
その他部位	1,637	0	238	0
合計	2,906	0	304	0

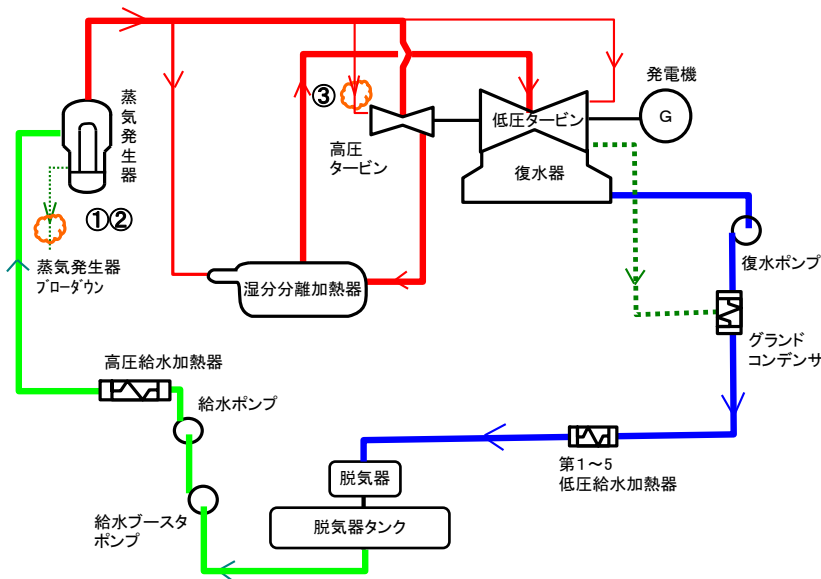
○二次系配管の管理指針に基づく内面目視点検

高圧排気管の直管部3箇所について、配管内面から目視点検を実施する。  
 その結果、配管内面に減肉が認められれば、超音波検査(肉厚測定)を実施する。

取替概要

○過去の点検において減肉が確認された部位11箇所、作業性を考慮した部位29箇所、および今後の保守性を考慮した部位53箇所、合計93箇所を耐食性の優れたステンレス鋼もしくは低合金鋼の配管に取り替える。

系統別概要図



【凡例】

- : 主蒸気系統
- : 給水系統
- : 復水系統
- ⋯ : ドレン系統
- : 主な配管取替箇所

【取替理由】

- ① 過去の点検結果で減肉が認められているため計画的に取り替える箇所  
 ・必要最小厚さとなるまでの期間が5年以上で減肉が確認された箇所(11箇所)  
 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 11箇所
  - ② 配管取替の作業性<sup>\*1</sup>を考慮して取替える箇所(29箇所)  
 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 29箇所
  - ③ 配管の保守性<sup>\*2</sup>を考慮して取り替える箇所(53箇所)  
 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 8箇所  
 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 45箇所
- 合計 93箇所

\* 1 配管取替時に近隣の配管も一緒に取替えた方が作業がし易いため取替える。  
 \* 2 狭隘部で肉厚測定がしづらい小口径配管などについて取り替える。